

“MY TOWN” うおっちゃんぐ

歩キ目デス & 足ラテス

Vol.54

奇想建築“懸造り”

岡崎 直司

タウンツーリズム講座主宰・
ヘリテージマネージャー



臥龍山莊不老庵

大洲市にあつて、よく知られている建物に「臥龍山莊」がある。木蠨業で財を成した新谷の河内寅次郎が、構想10年、施工4年を経て、名棟梁中野寅雄によって完成させた。特にその中の、明治36年に成った茶室不老庵は、この山莊の代表的なシーンとして登場する事が多い。何故ならば、それは肱川に面し、迫り出すように建てられているため、

水郷大洲のシンボリックな景観となつているからである。急斜面の地形に抗して、肱川の自然を取りこむように建てられたこの建物の、アクロバティックな技法、それが「懸造り」と呼ばれるものである。文字通り「懸崖造り」と呼ばれたりもして、京都は清水の舞台で有名なアレである。実は、最近次第に分かつて来た事として、この「懸造り」の建物が同じ大洲の地に、他に二例存在する。そのきつかけを作つて頂いたのが、砥部で設計事務所を営む建築家の和田耕一氏。それは、氏の「岡崎さん、県内で「懸造り」の建物をどこか知らないか？」の一言から始まつた。勿論、臥龍は周知の事実なので、「そう言えば、確か少彦名神社にもあつたな」と思い出した。「そこ連れて行ってよ」との事で、早速記憶を頼りに現地に向つた。歳月は頭を老化させ、ハテどこだつたか、やつとの事で菅田にある神社の参道途中でその社殿にたどり着き、氏の第一声は「なんでこんなのを早う言わんのよ」と。建築価値として、その位の発見事例だつた。

この建物の名称は、参籠殿。社務所兼用の小部屋以外は、大広間の一室のみで、奉納舞などに使われたのではないかと思われる。昭和6（1931）年の建築。本殿に上がる手前、参道が丁度鉤折れになる所に、急斜面に建物を持ちだすように建てられている。それはつまり、四間半×七間余の平面の三方が空中に突き出た恰好で、地面には手前の入り口側のみが乗っている。明らかに意図的に建物の殆どを空中楼閣として建てている。参道の上と下には余地があり、充分平地に建設する事も可能であるにも関わらずの状況下で、何故ここにこうした建て方を実現させたのか。当然基礎部分の懸崖に組まれた柱や桁はコスト高になり、構造的にも耐震や沈下など、高度な技術が要求される。棟梁はここでも中野寅雄。少し古代に心を遊ばせ、想像をふくらませてみよう。伊予風土記により、少彦名命が道後温泉の経営に関わつた事がよく知られているが、命はその後大洲に来たりて、伝説では肱川で溺死した事になつている。時は下り大正期、郷土史家の西園寺源透、横田傳松両翁あるいは後に国学院大教授となる樋口清之などが中心となり、少彦名命の終焉の地である伝説地としての研究調査が大いに進んだ。昭和に入ると、時の考古学者鳥居龍藏博士の裏付けなどにより、古代巨石文化の顕彰も行われ、昔から命が葬られ梁瀬神後の聖地



少彦名神社参籠殿側面



参籠殿床下



少彦名神社参籠殿正面



床下の板図



少彦名神社参籠殿板図

とされてきた場所に、時代風潮もあって、神社造営の気運が一気に盛り上がった。フィリピン貿易で財を成した松井國五郎や、朝鮮半島で数奇屋建築の多田と称された多田工務店のオーナー順三郎などから多額の寄付も寄せられ、今に残る社殿が造営されていた。

さて、この参籠殿の立地条件を考察してみたい。時あたかも皇国史観の時代にあつて、そうした神々の「抛りしろ」として、この空中楼閣をどう考えるべきか。境内地から突出させた意味は？ 筆者はこう考えてみたい。この身を乗り出すような建物位置からすると、丁度、命が溺れたとされる肱川の少し上流方向にある伝説地が望めるのではないか。

境内は、梁瀬谷の中腹にあるので、前面に押し出さないと、遭難地を望む事が出来ない。ここでの神楽や奉納舞は、まさに命に捧げる神事としてはうってつけの場所に違いない。参道が鉤折れになっているのも、霊力が強すぎるのでそのまま神域から野に放たれないよう、曲げてい



如法寺毘沙門堂



左同床下

況で、名刹といえどその維持が難しい時代になつているのを痛感する。先ほどの参籠殿も、実は屋根に穴が開き、早急に修復しないと本体が危うい。床下で見つかった貴重な立面図の板図だけは、何とか神社の顕彰活動をしている「おすくな社中」のお世話で大洲市立博物館に所蔵してもらったが。

何れにしても、中野棟梁の懸造りが三例大洲に存在し、そこには技術者としての挑戦する心が垣間見えるのだ。またそれらは県内でも貴重なもので、建築史的にもっと知られて良い価値がある。県文化財となつている臥龍山荘はともかく、他二例に光が当たる事を望むばかりだ。

※「少彦名神社」と「おすくな社中」物語 <http://www.geocities.jp/osukuna>